

まえがき



毎年2回にわたり、県政の主要施策と県財政の現状について公表し、県民の皆様にご理解をいただいておりますが、今回は、平成28年度上半期における財政の状況と平成27年度の決算状況について、そのあらましをご説明申し上げます。

本年度当初予算は、本年3月に策定した今後10年の本県の進むべき方向性を示す羅針盤である新たな長期構想の実現に向け、「人口減少時代に打ち克つ活力ある石川の創造」のほか、2年目を迎え、開業効果を最大限引き出していく「北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展」、さらには「県民生活の安全・安心の確保」といった点に特に重点を置いて予算編成を行いました。

さらに、9月補正予算では、金沢港のクルーズ船の増加や東京国立近代美術館工芸館の移転決定など、当初予算編成以降の情勢の変化や事業の進捗等を踏まえ、新たな対応が必要となった施策について予算編成を行いました。

平成27年度の一般会計の決算につきましては、社会保障関係経費など義務的経費の増加などにより厳しい財政運営が続いているところですが、職員数の削減をはじめ、経費の効率的執行や節減に努めたことなどから、財政調整基金と減債基金を取り崩すことなく、平成24年度以降、4年連続で収支均衡を達成できました。今後とも、県政の重要課題に積極的に取り組んでいくためには、持続可能な行財政基盤を確立することが不可欠であり、引き続き行財政改革に取り組んでまいります。

また、本号では、本県の財政状況をより詳しく多角的に説明するため、「総務省方式改訂モデル」により作成したバランスシートをはじめとする財務諸表を掲載いたしました。

皆様の忌憚のないご意見と一層のご協力をお願い申し上げます。

平成28年12月1日

石川県知事 谷本正憲

もくじ

第1 平成28年度上半期の財政状況	2
Ⅰ 補正予算のポイントは何ですか。.....	2
Ⅱ どのような事業が盛り込まれているのですか。.....	2
Ⅲ 予算額はいくらですか。.....	4
第2 平成27年度決算の状況	8
Ⅰ 平成27年度の決算は総じてどうでしたか。.....	8
Ⅱ 歳入、歳出それぞれについて詳しく教えてください。.....	10
Ⅲ 特別会計、事業会計の決算はどうですか。.....	13
Ⅳ 財政健全化に関する指標はどうなっていますか。.....	17
第3 企業会計的手法を用いた財政状況の分析について(本県の財務諸表)	21
Ⅰ 作成した目的は何ですか。.....	21
Ⅱ 行政コスト計算書から何がわかるのですか。.....	22
Ⅲ バランスシートから何がわかるのですか。.....	25
Ⅳ 純資産変動計算書から何がわかるのですか。.....	28
Ⅴ 資金収支計算書から何がわかるのですか。.....	29
財務諸表(行政コスト計算書、バランスシート、純資産変動計算書、資金収支計算書).....	32
(参考) 連結財務諸表について.....	38
資料編	45